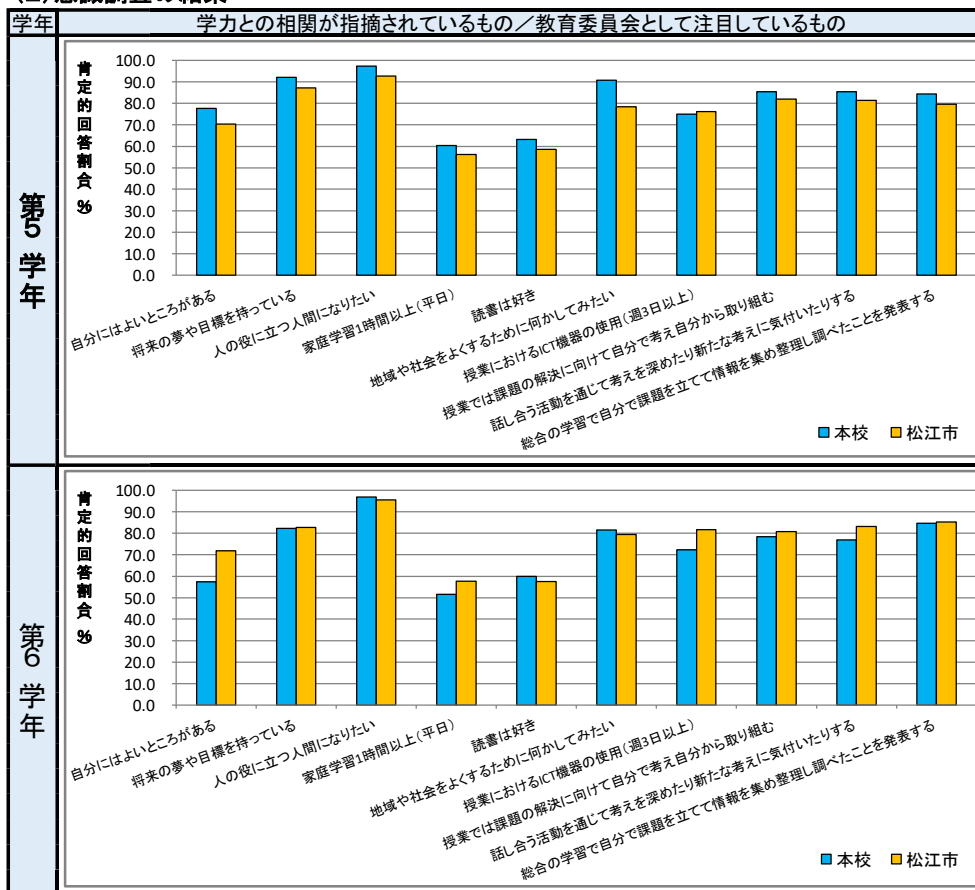


(1)教科調査の結果

学年	教科	分析(成果○/課題●)	改善策(○)
第5学年	国語	<p>成果 ○話す・聞く力が強み。「インタビューで話の内容を捉える」98%、「質問の工夫」約90%と目的をもって聞く力が高い。</p> <p>課題 ●「書く・深く読む」が課題。「筋道を立てて文章を書く」約24%、「自分の考えが伝わるように書く」約20%。 ●「読むこと」の問題が課題。「文章を読んで理解したことを基に自分の考えをまとめる」約11%。</p>	<p>【「考え」を書く活動の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人思考をして書く、ペア対話をして書く 等 ・テーマ、条件(要約、字数制限等)を踏まえて書く 等 ・考えをもち深める基盤としての読書活動の充実(本校 貸出冊数市平均以下)
	算数	<p>成果 ○「数と計算」領域の問題、特に基本的な「小数のかけ算・わり算」の問題では、全国推定値を上回っている。 ○同じように「分数のたし算・ひき算」の問題では、全国推定値を上回っている。</p> <p>課題 ●「単位量あたりの大きさ」「比例」の問題全てで全国推定値を下回っている。 ●「平均」の問題全てで全国推定値を下回っている。 ●「分数のたし算・ひき算」の問題では、全国推定値を上回っているが、約分が必要になると、全国推定値を下回るようになる。</p>	<p>【意味理解を図る学習過程の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・式の意味や式を立てた意図を表現する活動の充実 ・図、絵など数量の関係を多様に表現する活動の充実
第6学年	国語	<p>成果 ○「話す・聞く(グループで話し合う)」は、70~90%と高く、特に「互いの立場や意図を明確にしながらか話し合う」は90%以上で強みといえる。 ○「敬語の理解・使用」は約97%と非常に高い。 ○「コミュニケーション力」は強みといえる。</p> <p>課題 ●「文章全体の構成を考える」約28%、「読んで理解したことを基に自分の考えを書く」約25%、「文と文の接続関係の理解」約17%等が課題となっており、「深く読むこと」「論理的に理解すること」「自分の考えとしてまとめること」が課題である。</p>	<p>【「考え」を書く活動の充実】</p> <p>※5年生と同じ</p> <p>【論理的に考え表現する活動の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文と文の関係を理解して書く、構成を考えて書く活動の充実
	算数	<p>成果 ○「分数計算」…分数÷整数、分数同士の計算:70~80%台が多数ある。 ○「文字と式」…数量関係を式に表す:70%前後。</p> <p>課題 ●文章問題の理解が課題。「図を使って分数の除法の意味を説明」35%前後。 ●「変化と関係」領域の「比とその値」問題では全国推定値を下回り、30%前後。</p>	<p>【意味理解を図る学習過程の充実】</p> <p>※5年生と同じ</p> <p>【「関係性」を説明する学習の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「関係性」を扱う単元では特に「説明=アウトプット」を重視

(2)意識調査の結果



＜傾向と今後の対策、分析＞

成果○:強み/伸ばしたい点 について
課題●:弱み/改善を要する点 について

【第5学年】

- 自己肯定感や将来への目標意識が高く、他者貢献への意欲がみられる。
- 家庭学習や対話を通じた主体的な学びが市平均を上回っている。
- 授業におけるICT機器の使用は市平均を下回っており、学習効果を高めるための計画的・効果的な活用が課題。

【第6学年】

- 「人の役に立つ人間になりたい」が市平均を上回っており、他者貢献への意欲が育っている。
- 「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」が市平均を下回っており、自己肯定感や将来への見通しを高める取組が必要。

【R7学力調査受検者数】

第5学年	76	名
第6学年	67	名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示